

## 運営推進会議事録

開催日 平成 30 年 8 月 24 日（金） 13：30～15：00

場 所 生活介護リハビリセンター吉田事業所 2階事務室

参加者	区長様	欠 席	民生委員様	欠 席
	長野市	欠 席	吉田包括支援センター	中村 様
	利用者家族様	欠 席	(株)ワンライフ	欠 席
	当事業所職員	北澤真吾 吉家悟司		

### 次 第

1. 開会の挨拶
2. 出席者の紹介
3. 当事業所 運営状況報告 (資料① 参照)
4. 利用者様の傾向、問題点 (資料② 参照)
5. 職員について (資料③ 参照)

# ◆運営状況報告

## 平成 30 年 1 月から 7 月まで運営状況の報告

平成30年1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計			
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水				
要支援	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	1	0	0	2	1	15		
要支援	2	0	0	0	1	2	0	0	1	3	0	1	1	1	0	1	2	0	2	2	1	0	1	4	0	1	1	1	0	1	3	0	30		
要支援	小計	0	0	0	1	2	0	1	5	1	1	1	2	0	1	4	0	2	2	2	0	1	6	1	1	1	2	0	1	5	1	45			
要介護	1	0	0	0	6	6	5	0	5	5	6	6	6	5	0	4	6	6	6	6	5	0	4	5	7	6	7	5	0	6	5	8	136		
要介護	2	0	0	0	4	2	4	0	5	3	2	4	1	4	0	5	3	3	5	2	4	0	4	3	2	3	1	3	0	5	3	4	78		
要介護	3	0	0	0	1	0	3	0	1	0	1	1	1	3	0	1	1	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	1	1	3	0	1	2	0	24
要介護	4	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	14
要介護	5	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	12
要介護	小計	0	0	0	12	9	14	0	12	10	12	9	14	0	10	11	10	13	8	13	0	9	9	10	10	12	0	13	12	26	4	26	264		
合計		0	0	0	13	11	15	0	13	15	11	13	10	16	0	11	15	10	15	0	10	15	11	11	11	14	0	14	17	13	30	9	308		

月間利用者数	43
平均利用回数	14.8
取引ケアマネ	19

平均介護度	1.82
1日平均利用者数(人)	12.88
稼働率18名(%)	71.53

平成30年2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計								
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
要支援	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0	2	1	14		
要支援	2	1	2	0	0	1	3	0	1	2	1	0	1	2	1	0	1	3	0	1	1	1	0	1	3	0	1	2	1	0	1	3	0	3	0	30	
要支援	小計	1	2	1	0	1	4	1	1	2	2	0	1	4	1	1	2	0	1	5	1	1	2	2	0	1	5	1	2	2	0	1	5	1	44		
要介護	1	1	7	4	0	6	4	7	7	6	3	0	5	5	8	7	7	4	0	6	5	8	5	7	4	0	6	4	0	6	4	8	14	0	140		
要介護	2	4	2	4	0	4	3	3	3	1	5	0	4	2	4	3	1	4	0	4	3	4	3	1	5	0	5	3	4	7	9	3	4	7	9	79	
要介護	3	2	0	3	0	0	1	1	2	0	4	0	1	2	1	2	0	3	0	1	1	1	2	2	4	0	2	2	1	0	2	1	0	2	1	0	38
要介護	4	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	15
要介護	5	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	10
要介護	小計	14	10	13	0	11	9	12	12	8	14	0	11	11	11	14	13	9	13	0	11	10	14	10	14	0	14	11	14	28	2	26	4	26	4	26	282
合計		15	12	14	0	12	13	13	10	16	0	12	15	14	10	15	0	12	15	11	12	16	0	15	16	0	15	16	15	32	6	32	6	32	6	32	326

月間利用者数	45
平均利用回数	14.6
取引ケアマネ	21

平均介護度	1.85
1日平均利用者数(人)	13.58
稼働率18名(%)	75.46

平成30年3月	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	19	20	21	22	23	24	26	27	28	29	30	31	合計												
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水						
要支援	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	20				
要支援	2	1	2	0	1	3	0	1	2	1	1	3	0	1	2	1	1	3	0	1	2	1	1	3	0	1	2	1	1	3	0	1	2	1	1	3	0	35			
要支援	小計	1	3	1	1	4	1	1	3	2	1	4	1	1	3	2	2	4	1	1	3	2	2	4	1	1	3	2	2	2	1	1	3	2	2	1	3	2	55		
要介護	1	8	6	4	5	6	6	7	6	4	6	6	7	8	6	4	5	6	6	7	5	4	5	6	7	6	3	4	5	7	7	6	3	4	5	7	6	3	155		
要介護	2	3	2	5	5	2	4	2	1	5	5	2	3	1	1	5	4	2	2	1	1	5	4	1	3	3	2	4	7	8	7	6	3	4	5	4	7	6	3	78	
要介護	3	2	1	3	2	1	2	2	1	4	2	2	2	1	3	1	1	2	2	4	1	1	2	2	4	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	50	
要介護	4	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	17
要介護	5	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
要介護	小計	14	10	14	13	10	13	12	9	15	14	12	13	11	9	13	11	11	10	11	9	15	11	11	11	10	9	15	11	9	12	12	10	10	10	10	10	10	10	10	313
合計		15	13	15	14	14	14	13	12	17	15	16	14	12	12	15	13	15	11	11	12	12	17	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	368

月間利用者数	45
平均利用回数	16.4
取引ケアマネ	22

平均介護度	1.90
1日平均利用者数(人)	13.63
稼働率18名(%)	75.72

平成30年4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	26	27	28	29	30	31	合計											
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
要支援	1	0	1	2	1	0	0	1	0	1	0	1	2	1	0	0	1	0	1	0	1	2	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	21	
要支援	2	0	1	1	0	1	2	1	0	1	3	0	1	2	1	0	1	3	0	1	2	0	0	1	3	0	1	2	0	0	1	3	0	1	1	0	0	0	1	0	1	28
要支援	小計	0	2	3	1	1	2	2	0	2	5	1	1	2	2	0	2	5	1	1	2	1	0	2	5	1	1	2	1	0	2	5	1	1	1	1	0	2	4	9	49	
要介護	1	0	5	5	7	6	6	3	0	5	4	5	6	6	3	0	5	4	6	6	3	0	5	4	6	6	3	0	5	4	6	5	4	0	4	4	123	4	123	423		
要介護	2	0	3	1	4	2	1	4	0	2	0	5	2	3	4	0	4	2	4	2	5	0	6	3	4	4	3	5	0	6	8	1	5	1	0	6	8	1	5	81		
要介護	3	0	1	2	1	3	1	4	0	1	3	1	3	1	4	0	1	2	1	3	1	4	0	1	3	1	3	1	4	0	1	3	1	3	1	4	0	1	3	1	51	
要介護	4	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	16
要介護	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
要介護	小計	0	10	10	13	11	9	12	0	8	8	12	11	11	13	0	11	10	12	12	10	14	0	13	11	12	12	9														

## 【利用者の傾向、問題点】

当事業所は、認知症のリハビリ、個別の機能訓練の2本柱で運用していることもあり、認知症の利用者様、また認知症予防の利用者様が圧倒的に増えている。また地域でも認知症の方が増えてきていると感じる。

特に独居の認知症の利用者様は、各サービスの連携で支えていく必要があるが、当事業所に関しては、密な連携がなかなか組めていない現状があり、今後の課題となっている。

状況① 認知症状により失禁の多い独居利用者様について、朝のお迎えの際、デイサービスの職員が全更衣をし、ごみ屋敷状態の部屋を安全に歩けるよう整える。

⇒ 独居で認知症状があるため、デイサービスの利用日数が多い（食事面、身体衛生面などの理由により）、よって限度額の問題、年金額の問題などで、訪問介護での朝のケアを入れられず、デイサービスの職員が行うことが増えてきた。

状況② 包括支援センターから、夜に徘徊してしまい警察に保護された方など重度方の紹介を数名受けている。重度の方の大半が、認知症の方の治療が遅くなり症状が悪化している方、治療を全く受けていない方が多い。

ケアマネと連携し、デイサービスを利用することをきっかけに治療が始まる方もいる。

など

今まで以上に、認知症の方の在宅での介護については、デイサービスが大きな役割をしめてきている。それに伴い、年金額・限度額など様々な問題により、デイサービスが行う負担も増えている。

その利用者様を地域で支えて行くにあたり、当事業所はどこまでのことを行うのか、他のサービスとどのように連携していくかが、今後の課題となっている。

また、治療をきちんと行っていない方に対し、どのようにケアしていくのかも課題となっている。

1) 職員研修

平成 30 年度 研修計画

株式会社長野保健福祉会

研修テーマ	対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ヒヤリハット事例への対応	全職員							随時		→			
基本的な接遇・マナーの理解	全職員										○		
認知症の方への理解	全職員		○		○				○			○	
介護報酬改定内容について	全職員			○									
デイサービス施設基準	全職員	○								○			
虐待について	全職員					○							○
感染症について	全職員						○						
送迎時の動作	全職員								○				
介護記録について	全職員		○										

その他の計画

- ・ 採用1～2年目の介護職員に対し、3年以上の経験者を担当者として定め、日常業務の中での技術指導・業務に対する相談を実施する。
- ・ 月1回のケアカンファレンス、ケース検討の実施
- ・ 他事業者との交流の実施（管理者）
- ・ 都道府県が実施する研修会への参加（希望者）
- ・ 社内研修は、月1回のカンファレンス内で実施

昨年の研修実績を基に、業務に直結する内容を主に計画を作成しました。現場の方が意外に知らない、介護報酬改定の内容、自分の施設の施設基準・加算要件について昨年に続き今年も取り入れました。

5月は計画を変更し、当社が弱い記録について研修を行いました。記録は人に伝える・残す意味がありますが、自分の身を守るものでもあるので、できるだけ細かく正確に書くことについて資料を基に読み合わせ研修を実施しました。

その他

目標を意識して介護できるよう、目標一覧を作り確認しやすくした。記録にも、目標に対する取り組みを記入できるようにしている。利用者様の状況によりませんが、利用開始時に『ここまでできたら卒業ね』と話をしてモチベーションをあげ卒業させているデイサービスもある。

目標をさらに意識し、またサービスありきではなく、在宅での生活に重点を置きサービスする意識をもってほしい。（特に要支援）